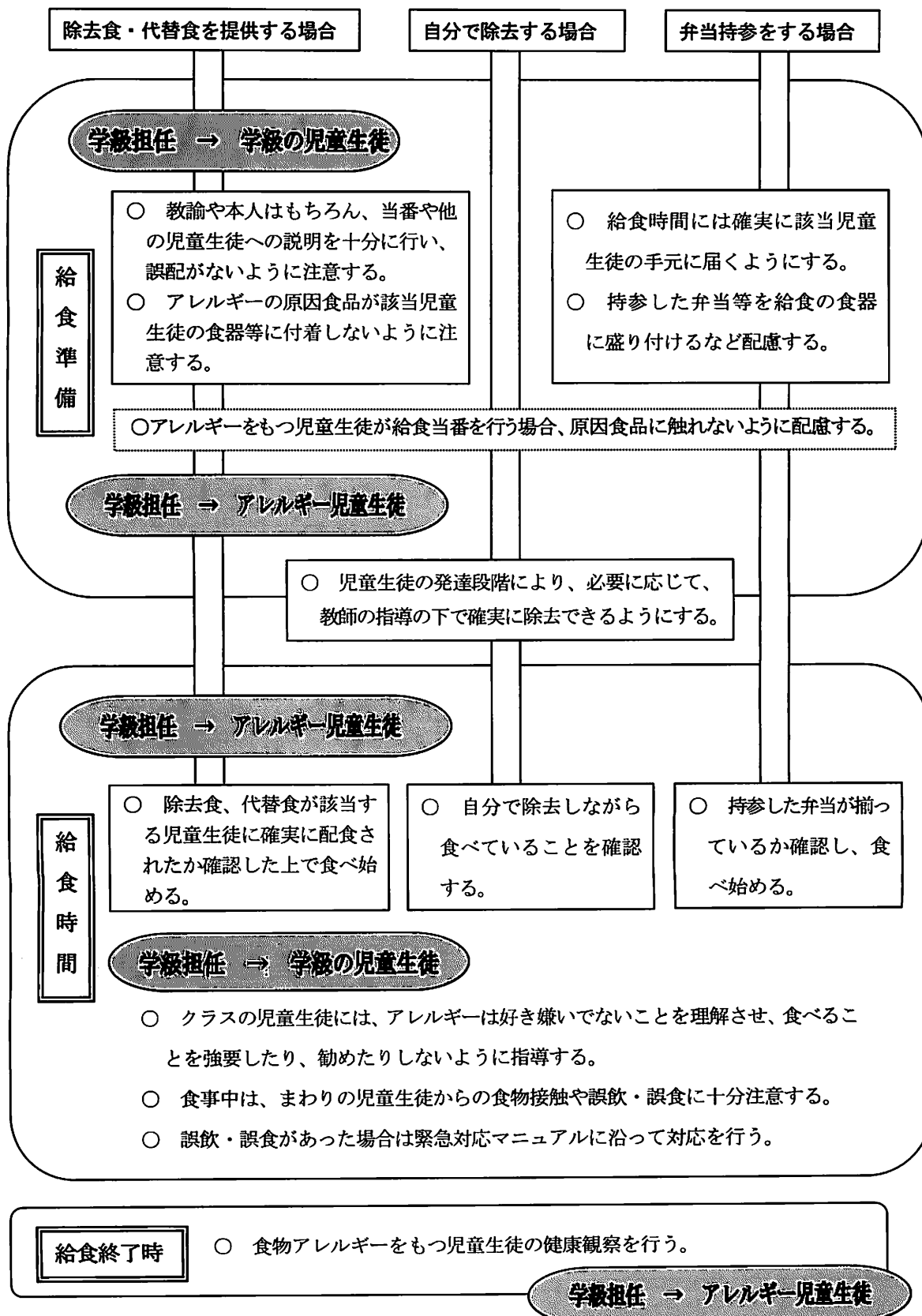
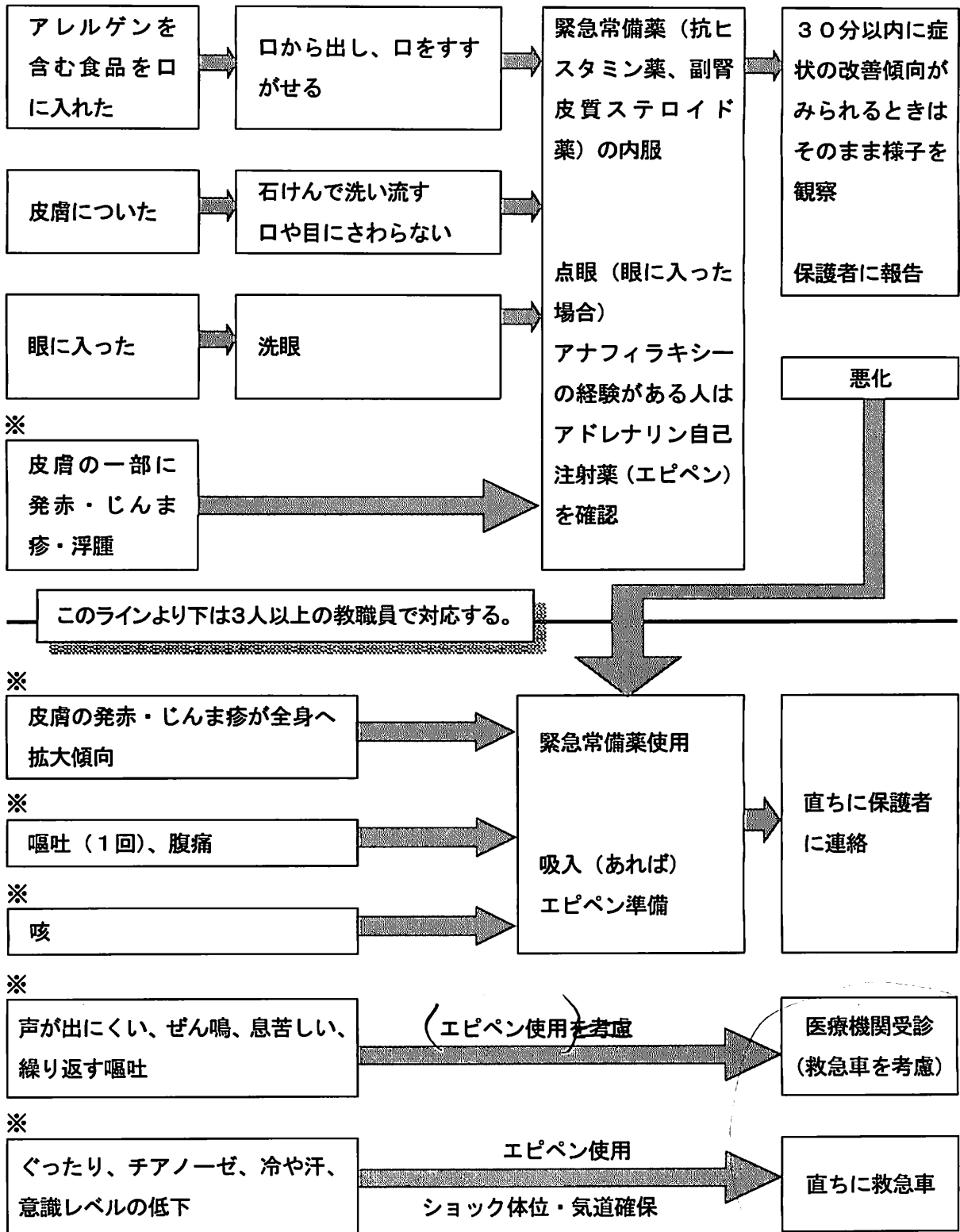


カ 給食時の教室での対応と指導



札幌市教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」引用一部変更

図5 緊急時の対応フローチャート



※ 以下はアレルギーを食べたことを前提とするが、それが確認できなくても症状からアレルギーが疑われる時は、同様の対応を行う。

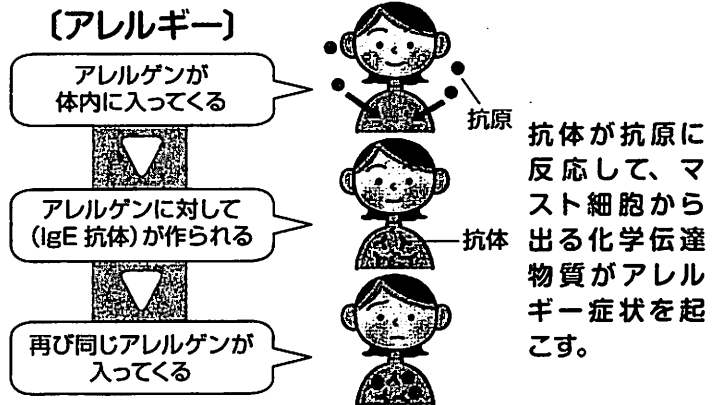
食物アレルギーの基礎知識

ポイント

- 食物アレルギーとは、食べたり、触ったり、吸い込んだりした食物に対して、体を守るはずの免疫のシステムが、過剰に反応しておきる有害な症状をいいます。
- 最も多い症状は皮膚症状ですが、ショック症状など重い症状を起こす場合もあります。
- 鶏卵、乳製品、小麦はアレルギーを起こしやすい食物ですが、ほかにも様々な食物がアレルギーを起こします。

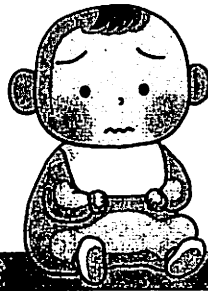
食物アレルギーとは

私たちの体には、細菌やウイルスなどの病原体の侵入から体を守る「免疫」という働きがあります。ところが、この免疫が有害な病原体ではなく、本来無害なはずの食べ物や花粉などに過敏に反応して、私たち自身を傷つけることがあり、これを「アレルギー反応」と呼んでいます。食物アレルギーは、食物を食べたり、触ったり、吸い込んだりした時に起きる体に有害な反応のうち、免疫のシステムが働いているものと定義されています。



食物アレルギーの症状

食物アレルギーでは、以下のような、全身の多彩な症状が起こります。

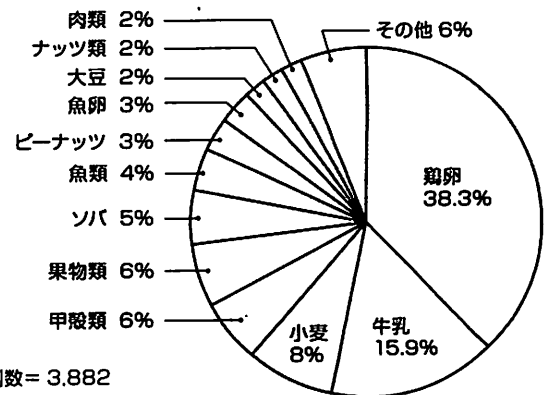


- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 皮膚の症状 | 5. 呼吸器症状 |
| かゆみ、じんま疹、発赤、湿疹 | 息が苦しい、咳、ゼーゼーする、のどのつまった感じ、声がれ |
| 2. 眼の症状 | 6. 消化器症状 |
| 結膜の充血、かゆみ、涙、まぶたの腫れ | 腹痛、はきけ、嘔吐、下痢、血便 |
| 3. 口・のどの症状 | 7. 循環器症状 |
| 口の中の違和感・腫れ、のどのかゆみ・イガイガ感 | 頻脈、血圧低下、手足が冷たい、蒼白 |
| 4. 鼻の症状 | 8. 神経症状 |
| くしゃみ、鼻汁、鼻づまり | 頭痛、元気がない、ぐったり、意識障害、不眠 |
| | 9. アナフィラキシー |

アレルギーを起こしやすい食品

以前 3 大アレルゲンといわれた鶏卵、乳製品、大豆のうち、大豆が減少して小麦がこれに変わりました。

原因食品の内訳 (対象は食物摂取後 60 分以内に症状が出現し、かつ医療機関を受診した患者)



「食物アレルギー診療ガイドライン 2012」(日本小児アレルギー学会 食物アレルギー委員会) より引用

アナフィラキシー

即時型のアレルギー反応のなかでも、じんま疹だけや腹痛だけなど一つの臓器にとどまらず、皮膚(じんま疹や発赤、かゆみ)、呼吸器(咳、くしゃみ、ゼーゼー、呼吸困難)、消化器(腹痛、嘔吐)、循環器(脈が速い、血圧低下)、神経(活動性の変化、意識の変化)など複数の臓器の症状があらわれるものをアナフィラキシーと呼びます。食物以外にも、薬物やハチ毒などが原因で起こります。血圧低下や意識障害などのショック症状を伴う場合は、アナフィラキシーショックと呼び、生命をおびやかす危険な状態です。

成長とともに耐性を獲得(アウトグロー)して、アレルギー反応を起こさなくなります。

